

公表

事業所における自己評価統括表 【放課後等デイサービス】

○事業所名	児童発達支援センター にじのはし		
○保護者評価実施期間	令和5年4月1日	～	令和6年3月31日
○保護者評価有効回答数	対象者数	34家庭	回答者数
			回収率
			32家庭
			94%
○従業者評価実施期間	令和5年4月1日	～	令和6年3月31日
○従業者評価有効回答数	対象者数	10名	回答者数
			回収率
			10名
			100%
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年3月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・異年齢の交流	・異年齢交流を行うことで、刺激し合いながら成長することができ、他者への思いやりの心も育むことができています。 ・お楽しみ会やハロウィンなど子どもたち主体で企画し、役割分担をして楽しませています。	・放課後等デイサービスプレゼンツで企画の開催を行っています。
2	・戸外活動	・施設での活動のみではなく、地域の体育館や公共施設の利用(公園・図書館・買い物活動等)を通して、社会性を育むことができています。	・継続して、施設外での活動も充実させ、社会の中でルールを守る力などを育てていけるよう努めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動プログラムの充実	・余暇時間の充実だけではなく、SST等のプログラムを充実させると共に高学年の余暇や活動プログラムの見直しを行っていく必要がある。	・個々の発達段階や特性に応じたプログラム設定を見直ししていく(楽しく学んでいける、充実した活動設定)
2	・各種マニュアル等の再周知	・各種マニュアルは完備されているが、保護者様に向けに周知できているかどうかは不足しているように思える。	・各種マニュアル等の周知方法について検討し、緊急時でも迅速に対応できるよう整備していく(HPでの公表を検討していく)
3	・保護者向けの研修開催と、きょうだい児の支援や交流機会の確保	・茶話会の開催を行っているが、研修までは行っていない。きょうだい児も参加できる行事を行っているが、交流機会を確保できているかまでは正直不足しているように思える。	・ペアレントトレーニングを含めた専門的な知識をより深め、茶話会などで研修を開催できるよう努めていく。きょうだい児の交流については今後、要検討事項。